

エスエーグループ

トラックでSDGs啓発

海洋ゴミ 写真のモザイクアート



膨大な数の海洋ゴミの写真を組み合わせ

【大阪】エスエーグループ（住之江区）では、海洋ゴミ（坂中亮善社長、大阪市）の写真を使ったモザイクア

ートをトラックにデザインし、SDGs（持続可能な開発目標）啓発に取り組んでいる。1年ほど前から産業廃棄物輸送を始めたことがきっかけで、現在では大型ウィング車3台まで増やしている。

2020年3月ごろに第1弾のモザイクアートプリントをウィングの片面に、反対側にはSDGs17目標のアイコンを施した。遠くから見ると海にクジラが漂っている絵に見えるが、近寄ると膨大な数の海洋ゴミの写真を組み合わせているものだと分かる。

産業廃棄物を運ぶ車両として、環境問題への配慮を

目立つ分、運転は慎重

【大阪】SDGs（持続可能な開発目標）を啓発するデザイントラックで産業廃棄物収集・運搬などに従事するのは、エスエーグループの山藤運送（坂中亮善社長、大阪市住之江区）に勤めるベテランドライバー、浅井克也さん（55）。

運転歴30年以上で、昔の運送業界を振り返り、「今と比べると地獄のように忙しかった」と話す。

エスエーグループで産業廃棄物を取り扱い始める際、最初に任されたのが浅井氏だったという。化学薬品が含まれることもあるため、事故防止には細心の注

山藤運送 浅井 克也さん

「トラックに乗るのが好きなので仕事に行くのも苦にならない」と浅井さん

「見掛けた人から驚きの声がかかるのをよく聞く。ネット上に写真が上がったこともあった。目立つ分、運転マナーは一層慎重になっている

意を払い、トラックの清掃し、サービスエリアなども徹底している。

SDGs車両については「何度もウィ



廃棄物「運ぶ人」不可欠



ングに描かれた17目標を見ているので、SDGsへの理解も深まった。これからは、緑の下の力持ち。表舞れ連った人にもSDGsを広める一助となれば」と話

「トラックドライバーは、緑の下の力持ち。表舞れ連った人にもSDGsを広める一助となれば」と話

アウトドア派で、磯釣りによく行く。奥さんはトラック運転者の仕事に理解のある人で、浅井さんは娘と愛犬ら家族を支えるため、

なげればたくさんゴミが浮かぶ海になってしまい、「かわらないせいか？かわるせいか？」という文字を示し、行動を変えていか

大坪司朗運輸統括部長は「トラック輸送は人々の生活を支える社会インフラであるものの、地球温暖化ガスの排出量は少なくない。

（根来冬太）